

マテリアリティ特定プロセス

味の素グループでは、ASVを通じた価値創造能力に実質的な影響を及ぼすマテリアリティを特定し、重要度・優先度を明確にして、事業活動を展開しています。



今後の予定

- 再整理したマテリアリティに基づき、具体的な活動を推進する。
- 再整理したマテリアリティやステークホルダーからの意見を収集する。
- 社会情勢の変化の速さを踏まえ、毎年マテリアリティの見直しを実施する。

味の素グループのマテリアリティ

2019年、最新の社会情勢およびステークホルダーのご意見・期待を踏まえ、マテリアリティ項目を見直しました。また、マテリアリティから機会・リスクを抽出し、それらへの取り組みを進めることで価値創造を目指しています。

味の素グループを取り巻く環境認識

世界人口の増加^{※1}

2018年 76億人 ▶ 2050年 98億人

2005~2007年と比較した2050年までに増やすべき食料生産 +60%^{※2}

- 食料・水・エネルギーの需要拡大

グローバルな高齢化

65歳以上人口^{※3} 2015年 6億人 ▶ 2050年 15億人

- 健康寿命の延伸ニーズの高まり
- ヘルスケア領域の需要拡大

気候変動

21世紀末までの世界平均地上気温の変化^{※4} +4.8℃

- 脱炭素化の加速
- 自然災害による物理的被害
- 原材料調達不安定化
- サプライチェーンの分断
- 健康への影響

急速な都市化

2050年全人口の都市への集中^{※5} 2018年 55% ▶ 2050年 68%

- 新しい物資の流れ
- 中間所得層の増加
- 競争の激化

デジタル技術革新

- デジタル・ディスラプション (新たなビジネス機会・競合の出現)
- 情報・製品・サービスの提供方法の変化
- AI・IoTの活用加速


※1 国連 (UN) (2017)
 ※2 国連食糧農業機関 (FAO) (2014)
 ※3 国連 (UN) (2015)
 ※4 国連気候変動に関する政府間パネル (IPCC) (2013)
 ※5 国連 (UN) 世界都市人口予測・2018年改訂版

▶ 「マテリアリティ一覧 (PDF)」をご覧ください。
 ▶ 「統合報告書 2019」 P11-12

味の素グループのコーポレートメッセージ

Eat Well, Live Well.

マテリアリティ項目

<p>健康なところから</p> <p>世界中の人々のウェルネスを実現する</p> <p>関連するSDGs</p> 	<p>製品の安全・安心の確保</p> <p>健康・栄養課題への貢献</p> <p>生活者のライフスタイルの変化に対する迅速な提案</p>	<p>▼ P9 P32</p>
<p>食資源</p> <p>限りある食資源を有効に活用し、より多くの価値を提供する</p> <p>関連するSDGs</p> 	<p>持続可能な原材料調達</p> <p>フードロスの低減</p>	<p>▼ P33 P48</p>
<p>地球持続性</p> <p>事業活動による負荷を低減し、地球持続性に貢献する</p> <p>関連するSDGs</p> 	<p>気候変動への適応とその緩和</p> <p>資源循環型社会実現への貢献</p> <p>水資源の保全</p>	<p>▼ P49 P61</p>
<p>事業活動の基盤</p> <p>持続的に成長できる企業集団を実現する</p> <p>関連するSDGs</p> 	<p>多様な人財の活躍</p> <p>ガバナンス強化</p> <p>グローバルな競争激化への備え</p>	<p>▼ P66 P89</p>